

講義名	リーダーシップ養成A(2年生以上)			授業形態	
担当教員	亀谷 涼 / 田邊 良祐	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

グローバル化が加速し、社会構造が複雑化する現代において、リーダーシップの重要性はますます高まっています。本講義では、未来社会を担う大学生が、多様な価値観を尊重し、周囲を巻き込みながら、変化を恐れず自ら行動できるリーダーシップを育成することを主題とします。
 本講義では、講義、演習、フィールドワークを通して、リーダーシップの基礎概念、スキル、および実践力を体系的に学びます。特に、フィールドワークでは、地域社会や企業と連携し、現実の課題解決にチームで取り組みます。机上での学習にとどまらず、実践を通してリーダーシップを体感し、成長を促します。

到達目標

本講義を修了することで、学生は以下の能力を身につけることを目標とします。
 リーダーシップの概念を理解し、自らのリーダーシップ観を形成できる。
 共感力、コミュニケーション能力、チームビルディング能力を習得し、実践できる。
 論理的思考力、問題解決能力を身につけ、現実の課題解決に貢献できる。
 多様な価値観を尊重し、多様な人々と協働できる。
 変化を恐れず、自ら行動し、周囲を巻き込むことができる。

提出課題

様々なワークシートを授業内で作成する。
 「フィールドワーク」の体験や成果を示した展示プランの作成と発表

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

成果物や提出物は、授業中に講評・解説する。
 フィールド演習での展示物、発表は、受講生との相互評価により、フィードバックを受ける。

評価の基準

毎授業提出するミニッツペーパー 60%
 フィールドワーク事前調べ学習成果物 10%
 フィールドワークに基づく提案に関する成果物 30%

履修にあたっての注意・助言他

講義、演習、フィールドワーク全てに積極的に参加し、自ら学びを深める姿勢が重要です。チームで協力し、互いを尊重しながら課題に取り組みることが求められます。本講義は、自己成長を促すための場です。自身の課題と向き合い、積極的に改善を図ってください。リーダーシップを発揮する上で、高い倫理観を持つことが重要です。多様な意見や価値観を尊重し、差別や偏見のない態度で人と接してください。
 第6-10回の「フィールド演習」については、2025年5月31日(土)に集中授業として実施します。このフィールド演習を欠席した場合は、単位認定を行わない場合がありますので、必ず「欠席届」を提出すること。これをもって単位認定の可否を判断します。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業中に配布する

授業計画

- 第1回 自己紹介とリーダーシップ
 予習内容: リーダーシップに関する書籍や記事を読み、自分にとっての理想のリーダー像をイメージしておくこと。過去の経験で、リーダーシップを発揮した場面や、チームで協力して目標を達成した経験があれば思い出しておくこと(120分)
 授業内容: 授業内容やディスカッションで出た意見を整理し、自分自身のリーダーシップ観をまとめること。リーダーシップに関する参考文献を読み、さらに理解を深めること(120分)
- 第2回 コミュニケーションスキル
 予習内容: コミュニケーションに関する書籍や記事を読み、様々なコミュニケーションスキルについて学ぶこと。自分のコミュニケーションスタイルを振り返り、改善点があれば考えておくこと(120分)
 復習内容: 講義や演習で学んだコミュニケーションスキルを、日常生活で意識して実践してみること(120分)
- 第3回 共感性
 予習内容: コミュニケーションに関する書籍や記事を読み、様々なコミュニケーションスキルについて学ぶこと。自分のコミュニケーションスタイルを振り返り、改善点があれば考えておくこと(120分)
 復習内容: 講義や演習で学んだコミュニケーションスキルを、日常生活で意識して実践してみること(120分)
- 第4回: ディベート・ディスカッション
 予習内容: 論理的な思考力や批判的思考力を高めるためのトレーニングを行うこと(120分)
 復習内容: ディベート・ディスカッションで学んだことを、日常生活で議論する際に意識して実践すること(120分)
- 第5回: フィールド演習事前学習
 予習内容: フィールド演習先の情報(場所、目的、活動内容など)を事前に調べておくこと(120分)
 復習内容: フィールド演習に必要なスキルや知識を復習しておくこと(120分)
- 第6-10回: フィールド演習
 本講内容: 各チームで事前に計画を立て、役割分担や準備を行うこと。よってフィールド演習に必要なスキルや知識を復習する(120分)。 フィールド演習の場所についてインターネット等で調査し整理する(120分)。 文献等を収集しフィールド演習の手法について調査し整理する(180分)。 文献等を収集しフィールド演習に伴う授業の実践について調査し整理する(180分)
 復習内容: 各日の活動内容を振り返り、チームで共有(120分)、 フィールド演習で学んだことや課題を整理(120分)、 で整理した内容を個人で短いプレゼンテーションにまとめる(180分)、 フィールド演習での学びを今後どのような行動で改善するかレポート作り(180分)
- 第11回: フィールド演習まとめ
 予習内容: フィールド演習で得られたデータや情報を整理し、成果物の構成を検討すること(120分)
 復習内容: 作成した成果物をチームで確認し、修正点や改善点を見つけること(120分)
- 第12回: ビアレビュー
 予習内容: チームで互いの成果物を評価し、建設的なフィードバックを行う(120分)
 復習内容: 共感性を意識しながら、相手の努力や成果を認め、改善点を提案する(120分)
- 第13回: 発表練習
 予習内容: 発表内容をチームで検討し、役割分担や計画を立てること(120分)
 復習内容: 発表練習で得られたフィードバックを参考に、発表内容や表現方法を改善すること(120分)
- 第14回: フィールド演習結果発表
 予習内容: 発表内容を最終確認し、本番に臨むこと(120分)
 復習内容: 発表後、チームで反省点や改善点を話し合い、次の活動に活かすこと(120分)
- 第15回: 振り返りと検証
 予習内容: フィールド演習全体を通して学んだことや課題を整理し、自己評価を行うこと(120分)
 復習内容: 振り返りシートを作成し、今後の学習や活動に活かすこと(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア: PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ: 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ: その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義では、フィールドワークや演習を通して得られた気づきや学びを、レポートやプレゼンテーション等の形で表現する機会を設けます。これにより、学生は情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力を高め、知識を知恵に転換する力を養います。これは、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に不可欠な要素です。
 また、自己理解を深め、自らの強みを活かしたリーダーシップスタイルを確立することを支援します。
 さらに得られたリーダーシップの知識やスキルは、CA等の活動で実践的に活用することができます。学生は、チームをまとめ、目標達成に貢献することで、リーダーシップをさらに向上させることができます。これは、「仲間と協働して、物事を成し遂げることができる人材」としての能力養成と関連しています。

双方授業の実施及びICTの活用に関する記述

受講生間ならびに、担当教員と受講生の、相互啓発的な双方方向授業を実施する。具体的には、課題解決型学習、グループワーク、プレゼンテーションさらに、授業終了後の実習が含まれている。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

第6回-第10回は学外でのフィールドワーク（企業インターンシップ）を予定している。以下の事項を確認のうえ履修すること。詳細は再度第1回目のガイダンスでも説明する。
 ・第6-第10回（5月23日-6月28日）の間の土日のいずれか1日フィールドワーク（企業インターンシップ）を行う。ここに参加できない学生は単位認定ができない。
 ・フィールドワークは実費で交通費が必要な場合がある。
 ・フィールドワーク先は岡山（倉敷）、香川（多度津）、愛媛（今治）のいずれかの予定である。